

※ 各法人の年度計画に係る業務実績を検証してください。実績の検証は法人ごとに行うものであり、法人間の比較を行うものではありません。

委員氏名 []

県立病院法人（三病院共通）委員検証シート

1ブロック：1-1-1 より質の高い医療の提供～ 1-1-2 患者・住民サービスの向上

1-1-1 より質の高い医療の提供

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																															
H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価 業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価 業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価 業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価																																													
<p>(1) 高度先進医療機器の計画的な更新・整備 [項目番号01] 高速X線CT装置(MDCT)、MRI等の高度先進医療機器を計画的に更新し、整備を進めるため、リースの活用も考慮し、中期計画期間中(平成26年度まで)の地方独立行政法人岐阜県総合医療センター(以下「法人」という。)としての合理的な更新・整備計画を策定する。</p>	<p>・平成22年度は、診療科・部による中長期計画及び稼働状況等を勘案し、主要医療機器(本体価格3,000万円以上)の更新・整備計画を策定した。この計画に基づき更新・整備を行った。 ・高額な機器に関しては、稼働状況・費用対効果を勘案し、特に中長期計画などと整合を図りながら整備することとした。</p> <p>代表的な更新・整備機器一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機名</th> <th>整備目的・用途等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3次元マッピングシステム・アブレーションシステム</td> <td>心腔内電位を記録して不整脈診断・治療をする。</td> </tr> <tr> <td>ガンマカメラ装置</td> <td>放射性医薬を投与しγ線を検出診断</td> </tr> <tr> <td>X線TV装置</td> <td>デジタル方式によるX線透視・撮影</td> </tr> </tbody> </table> <p>主要検査機器の稼働実績件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">PET(1台)</td> <td>外来</td> <td>678</td> <td>793</td> </tr> <tr> <td>入院</td> <td>133</td> <td>96</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">MR(2台)</td> <td>外来</td> <td>6,467</td> <td>6,973</td> </tr> <tr> <td>入院</td> <td>1,998</td> <td>1,440</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">CT(2台)</td> <td>外来</td> <td>17,004</td> <td>19,236</td> </tr> <tr> <td>入院</td> <td>5,279</td> <td>4,856</td> </tr> </tbody> </table>	機名	整備目的・用途等	3次元マッピングシステム・アブレーションシステム	心腔内電位を記録して不整脈診断・治療をする。	ガンマカメラ装置	放射性医薬を投与しγ線を検出診断	X線TV装置	デジタル方式によるX線透視・撮影	項目・年度	H20	H21	H22	PET(1台)	外来	678	793	入院	133	96	MR(2台)	外来	6,467	6,973	入院	1,998	1,440	CT(2台)	外来	17,004	19,236	入院	5,279	4,856	III	<p>(1) 高度医療機器の計画的な更新・整備 [項目番号01] CT(64・128スライス)、3T MRI、PET/CT、連続血管撮影装置、超音波診断装置、ESWL、内視鏡、手術用顕微鏡など高度医療機器を整備しているが、老朽化した機器も現存しているため、診療各科の需要に応じて年度当初に費用対効果、県民の医療需要、医療技術の進展などを総合的に判断して購入予定機器を選定し、新規購入及び更新を計画的に進める。</p>	<p>高度医療機器の計画的な更新・整備 ・院内の医療機器整備委員会において診療各科の要望を取りまとめ、費用対効果、県民の医療需要、医療技術の進展などを総合的に判断して購入予定機器を選定し、新規購入及び更新を計画的に進めた。 ○主な購入機器</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>用途</th> <th>使用頻度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>超音波診断システム</td> <td>産婦人科病棟にて診療時使用</td> <td>1500件/月</td> </tr> <tr> <td>手術顕微鏡</td> <td>脳神経外科でマイクロ手術に使用</td> <td>5件/月</td> </tr> <tr> <td>手術顕微鏡</td> <td>眼科で白内障手術に使用</td> <td>60件/月</td> </tr> </tbody> </table> <p>・現在、がんの放射線治療を行っている三菱電機製の放射線治療装置について、導入から12年が経過し老朽化していることと、今後の保守管理が不安視されることから、更新が必要となっている。更新には、巨額な費用がかかることと、運用前に国への許認可手続きに相当な時間を要することから、院内に専門の委員会を設置し、検討を重ね、地域がん診療連携拠点病院として、放射線治療を休止することなく新たな機器の運用を開始するため、現在の機器を稼働させながら新規購入することを決定した。また、あわせて機器に求める性能、運用開始予定時期についても決定した。(平成24年秋)</p>	機器名	用途	使用頻度	超音波診断システム	産婦人科病棟にて診療時使用	1500件/月	手術顕微鏡	脳神経外科でマイクロ手術に使用	5件/月	手術顕微鏡	眼科で白内障手術に使用	60件/月	III	<p>(1) 高度医療機器の計画的な更新・整備 [項目番号01] 高度専門医療等の水準を維持・向上させるため、中期目標の期間における更新及び整備計画を策定し、高度医療機器の計画的な更新・整備を進める。 医療機器の整備及び更新に当たっては、稼働率や収支の予測を十分に行った上で進めるとともに、リース等を含めた最適な導入形態を検討する。</p>	<p>高額医療機器の更新実績 ○健診医療の充実を図るため、「胃部健診用デジタルX線システム」を更新 ◆購入価格 37,149千円 ◆平成23年3月18日納入、平成23年4月から運用を開始する。 人間ドック・生活習慣病予防検診(けんぽ協会)・下呂市がん検診などの胃部健診において年間2800件程度(予測)の撮影を行う予定。 ◆有利な財源を確保するため、へき地医療拠点病院施設整備補助金を導入</p>	III
機名	整備目的・用途等																																																				
3次元マッピングシステム・アブレーションシステム	心腔内電位を記録して不整脈診断・治療をする。																																																				
ガンマカメラ装置	放射性医薬を投与しγ線を検出診断																																																				
X線TV装置	デジタル方式によるX線透視・撮影																																																				
項目・年度	H20	H21	H22																																																		
PET(1台)	外来	678	793																																																		
	入院	133	96																																																		
MR(2台)	外来	6,467	6,973																																																		
	入院	1,998	1,440																																																		
CT(2台)	外来	17,004	19,236																																																		
	入院	5,279	4,856																																																		
機器名	用途	使用頻度																																																			
超音波診断システム	産婦人科病棟にて診療時使用	1500件/月																																																			
手術顕微鏡	脳神経外科でマイクロ手術に使用	5件/月																																																			
手術顕微鏡	眼科で白内障手術に使用	60件/月																																																			
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	検証結果		◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	検証結果		◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント	検証結果																																														

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																							
H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																						
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価																																					
<p>(2)長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備 項目番号02</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要な医療従事者等を確保するため、職員採用試験の時期・回数をチェックし、効果的な採用に努める。特に、看護師採用は毎月実施する。また、年俸制の導入も考慮しつつ、定年退職者(医師)の再雇用制度を平成22年度中に構築する。 「女性医師等が継続して働き続けることができる病院づくり委員会(仮称)」を設置し、医師をはじめとする女性職員が働きやすい職場づくりに向けて、さまざまな取組を検討する。 <p>・7:1看護体制(看護職員の二交代制)を維持する。</p> <p>・医師事務作業補助(医療ケア)、病棟・外来看護事務補助(病棟等看護ケア)等を配置拡充する。 [医療ケア:7→13人、看護ケア:5→10人]</p> <p>・医局会や看護師長会等において、代休取得、週休日の振替を徹底する。</p>	<p>・年度当初看護師の定数562人に対して現員数は503人であり、長時間勤務やローテーション維持並びに年休の消化などに支障があり、この状態の改善に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 採用試験を4回実施するとともに、看護学校や各種ガイダンス等への参加、新聞の掲載等雇用確保のため積極的に働きかけを行った。 平成22年度は麻酔医を再雇用した。定年退職者(医師)の採用実績 1名 <p>・「女性職員が継続して働き続けることができる病院づくり委員会」を設置し、他の機関の調査した結果の分析、先進的システムを導入している病院の実態等を調査を実施し23年度からの具体的取り組みの基礎資料とすることとした。</p> <p>・委員会設置と開催実績等</p> <table border="1"> <tr><th>時期</th><th>内容</th></tr> <tr><td>22/4</td><td>委員会設置</td></tr> <tr><td>23/1</td><td>第1回委員会開催(主な議題:要綱の制定、大学病院の状況、女性医師就業支援事業、アンケート調査の実施法)</td></tr> <tr><td>23/3</td><td>第2回委員会開催(主な議題:アンケート調査分析)</td></tr> </table> <p>・看護師人数(503→521人)の増員などで、7:1看護体制を6.1%上回る体制を維持できた。</p> <p>・医師事務作業補助(医療ケア)、病棟・外来看護事務補助(病棟等看護ケア)等を配置拡充した。</p> <p>・医師補助・看護補助体制の拡充状況 [医療クラーク:20人、病棟等看護クラーク:16人 平成22年度末]</p> <p>・看護師、技師等については、各種機会を通して、代休取得、週休日の振替を徹底した。</p> <p>・衛生・労働安全委員会で、長時間残業職員数を報告し、縮減するよう啓発に努めた。</p> <p>・長時間勤務の医師については、各担当副院長が時間外勤務時間の縮減、及び代休等への振り替えを指導し、併せて過重労働健康相談を実施した。</p> <p>・医局会や看護師長会等において、代休取得、週休日の振替指導を徹底した。</p> <p>・代休等取得状況</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>内訳</th></tr> <tr><td>代休取得</td><td>H22実績 1日代休15、半日代休3</td></tr> <tr><td>週休日の振り替え</td><td>H22実績 1日振休223、半日振休234</td></tr> </table>	時期	内容	22/4	委員会設置	23/1	第1回委員会開催(主な議題:要綱の制定、大学病院の状況、女性医師就業支援事業、アンケート調査の実施法)	23/3	第2回委員会開催(主な議題:アンケート調査分析)	区分	内訳	代休取得	H22実績 1日代休15、半日代休3	週休日の振り替え	H22実績 1日振休223、半日振休234	III	<p>(2)長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備 項目番号02</p> <p>職員の負担を軽減するため、職種毎の業務量に見合った人員数を確保するとともに、変形労働時間制を採用することにより時間外勤務の縮減にも努める。また、職務に専念できる環境整備の一環として、院内保育所について、保育対象年齢の引き上げや、それに対応できるだけの保育士数の確保を検討するとともに、施設整備にも努め、ソフト面、ハード面の両面から充実を図り、働きやすい環境の整備及び職員の定着化を図る。</p>	<p>長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成22年4月1日時点において、前年同月に対し、医師5名、看護師26名、医療技術職員8名を増員した。 各職員の事情に応じ勤務時間を柔軟に変更できるように変形労働時間制を導入した。 職務に専念できる職場環境整備の一環として、昨年度一部改築を加えた院内保育所について、常勤保育士5名、非常勤保育士4名の勤務シフトを見直すことにより、慢性的な人手不足の解消及び、保育時間を従来より1時間延長した。(平成23年1月～)保育所入所者数 37名(23年3月末現在) 保育所内の渡り廊下の入口に転落防止用の柵を取り付けることで、事故の発生防止に努めた。 	III	<p>(2)長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備 項目番号02</p> <p>より質の高い医療を安定的に提供するため、医師・看護師職員をはじめとする医療職の必要数確保及び定着を図る。特に医師の勤務条件を緩和するため、医師確保と医師定着化の対策を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 下呂温泉病院勤務医師や岐阜大学地域医療医学センター医師等が地域の教育研究を実践する場として設置した地域医療研究研修センターにおいて、地域医療を志す医師の養成 優秀な医師を確保するため、医師の給与面での優遇措置 岐阜県及び圏域市町村と連携した医師確保に向けた様々な取り組み <p>・定年を迎えた医師のうち、質の高い医療の提供に寄与すると認められる者の再雇</p> <p>・インターネットや医学専門誌などのメディアの積極的活用による医師の公募</p> <p>・県民ニーズに柔軟かつ迅速に対応できるよう非常勤医師の活用</p> <p>・看護師負担の軽減とともに高い患者サービスも可能な、7対1看護体制維持に必要な看護師数の確保</p>	<p>◆医師確保対策として医師手当を増額</p> <p>◆医師確保対策として医師手当を増額</p> <table border="1"> <tr><th>変更前</th><th>変更後</th></tr> <tr><td>52,500円～ 365,500/月</td><td>405,500円/月 役職に応じ 40,000～ 100,000円 を加算</td></tr> </table> <p>◆看護師の勤務条件の向上のため夜間看護手当を増額</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>変更前</th><th>変更後</th></tr> <tr><td>全深夜</td><td>6,800円</td><td>10,000円</td></tr> <tr><td>4h以上</td><td>3,300円</td><td>5,000円</td></tr> <tr><td>2h以上4h未満</td><td>2,900円</td><td>4,000円</td></tr> <tr><td>2h未満</td><td>2,000円</td><td>3,000円</td></tr> </table> <p>◆看護師の勤務負担の軽減、7:1看護体制の維持のため看護助手を平成22年度中に4名増員。</p> <p>H22年4月に定年を迎えた病理医師をH22年5月に再雇用。病理診断部門の体制維持を図った。</p> <p>インターネットでの医師公募を行うべく医療従事者専門情報サイト運営業者との打合せを12月に開始し、H23年4月以降の掲載に向けて調整を行った。</p> <p>非常勤医師による常勤医不在の診療科(小児科、耳鼻いんこう科、皮膚科、眼科)及び常勤医不足の診療科への支援により、地域県民ニーズに対応した医療の確保を図った。</p> <p>◆H22 診療依頼延べ回数</p> <table border="1"> <tr><th>平成21年度</th><th>平成22年度</th></tr> <tr><td>1,496回</td><td>1,689回</td></tr> </table> <p>法人化のメリットである弾力的な職員採用を最大限に行い、H22年度中に</p> <ul style="list-style-type: none"> 正職員看護師 4名 非常勤看護師 6名 <p>を採用し、7対1看護体制の維持に必要な看護師を確保した。</p>	変更前	変更後	52,500円～ 365,500/月	405,500円/月 役職に応じ 40,000～ 100,000円 を加算	区分	変更前	変更後	全深夜	6,800円	10,000円	4h以上	3,300円	5,000円	2h以上4h未満	2,900円	4,000円	2h未満	2,000円	3,000円	平成21年度	平成22年度	1,496回	1,689回	III
時期	内容																																												
22/4	委員会設置																																												
23/1	第1回委員会開催(主な議題:要綱の制定、大学病院の状況、女性医師就業支援事業、アンケート調査の実施法)																																												
23/3	第2回委員会開催(主な議題:アンケート調査分析)																																												
区分	内訳																																												
代休取得	H22実績 1日代休15、半日代休3																																												
週休日の振り替え	H22実績 1日振休223、半日振休234																																												
変更前	変更後																																												
52,500円～ 365,500/月	405,500円/月 役職に応じ 40,000～ 100,000円 を加算																																												
区分	変更前	変更後																																											
全深夜	6,800円	10,000円																																											
4h以上	3,300円	5,000円																																											
2h以上4h未満	2,900円	4,000円																																											
2h未満	2,000円	3,000円																																											
平成21年度	平成22年度																																												
1,496回	1,689回																																												

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																				
H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																			
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価																		
<p>・院内保育所の在り方について職員との意見交流を図り、24時間保育も含めた時間延長等を行うなど、ハード・ソフトの両面から環境整備に取り組む。</p> <p>・セクハラ・パワハラ等防止管理規程の制定、相談窓口の設置等の体制を整備する。</p> <p>・「院内暴力対応マニュアル」を周知することで、院内暴力に対する警備強化を図る。</p>	<p>・平成13年から岐阜県総合医療センター保育施設運営協議会を設置し、医療センターに勤務する職員(非常勤職員含む)の保育事業を実施している。</p> <p>・通常保育時間 7:45~19:00 (延長保育時間 7:00~22:30)</p> <p>・院内保育所の活用状況 最少預かり児童数 26人 最大預かり児童数 36人 月平均30.5人</p> <p>・24時間保育の実施に向け、床暖房工事、外部改修等の改修工事を行った。(22年3月末)</p> <p>・ハラスメント防止に関する規程を整備し、院内相談窓口を設置した。</p> <p>・患者相談室を設置し体制整備した。</p> <p>・相談内容:がん相談(一般、セカンドオピニオン、退院調整)、がん以外(なんでも相談、意見・苦情、セカンドオピニオン外来、退院調整)などを実施した。</p> <p style="text-align: center;">平成22年度実績件数</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>がん相談</td> <td style="text-align: right;">607</td> </tr> <tr> <td> がん相談支援</td> <td style="text-align: right;">352</td> </tr> <tr> <td> セカンドオピニオン</td> <td style="text-align: right;">70</td> </tr> <tr> <td> 退院調整室</td> <td style="text-align: right;">185</td> </tr> <tr> <td>がん以外の相談</td> <td style="text-align: right;">1,225</td> </tr> <tr> <td> なんでも相談</td> <td style="text-align: right;">273</td> </tr> <tr> <td> 意見・苦情</td> <td style="text-align: right;">48</td> </tr> <tr> <td> セカンドオピニオン</td> <td style="text-align: right;">5</td> </tr> <tr> <td> 退院調整室</td> <td style="text-align: right;">899</td> </tr> </table> <p>・平成22年9月に、被害が発生したあとの報告体制整備及び被害者ケアの必要性の有無の報告徹底等院内暴力対応マニュアルを改正した。</p> <p>・各科・部に対しマニュアルを周知するとともに、院内暴力に対する警備強化に務めた。</p>	がん相談	607	がん相談支援	352	セカンドオピニオン	70	退院調整室	185	がん以外の相談	1,225	なんでも相談	273	意見・苦情	48	セカンドオピニオン	5	退院調整室	899							
がん相談	607																									
がん相談支援	352																									
セカンドオピニオン	70																									
退院調整室	185																									
がん以外の相談	1,225																									
なんでも相談	273																									
意見・苦情	48																									
セカンドオピニオン	5																									
退院調整室	899																									
◎特筆すべき点・進捗状況評価に	に関する意見・その他コメント	検証 結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に	に関する意見・その他コメント	検証 結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に	に関する意見・その他コメント	検証 結果																		

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院								
H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価 業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価 業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価 業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価						
(3) 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師をはじめとした職員の養成 項目番号 03 岐阜大学病院等国内外先進病院への医師の研修派遣者数を増やし、医師をはじめ優れた職員を養成する。また、高度専門医療の水準の維持・向上のため、専門医や研修指導医等の取得に向けた研修体制の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年度医師の研修派遣者数実績1名 愛知県（名古屋第二赤十字病院） 専門医や研修指導医等の取得に向けた研修、学会・セミナー等の派遣実績 <ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパ心臓病学会2010 ニース循環器学会 呼吸器・内視鏡世界会議 北米放射線学会 欧州医学会 	III	(3) 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成 項目番号 03 高度な医療を提供できる医師の養成のため、各診療科においてそれぞれ関連大学の主催する検討会や研修会に参加する。また、学会主催の研修にも各自数回程度出席し、各診療科の検討会等で研修内容を共有する等、院内においてフィードバックできる体制の確立と研修医に対する充実した研修プログラムを実行する。	<p>大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種学会等の座長、発表者、評議員にあたっている医師に関して、出張旅費を支給し支援を行った。（それ以外の参加については、年2回程度の支援を行った。） <p>○主な学会セミナー等の派遣実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>派遣用</th> <th>派遣先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>米国心臓協会学術集会 ANESTHESIOLOGY 2010</td> <td>アメリカ・シカゴ アメリカ・サンディエゴ</td> </tr> <tr> <td>ヨーロッパ心臓病学会 2010</td> <td>スウェーデン・ストックホルム</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 各診療科においては、大学医局との検討会や研修会に積極的に参加し、院内の研修会カンファレンスで情報の共有を行っている。また同時に各科において研修医用の研修プログラムの見直しを随時行っている。 	派遣用	派遣先	米国心臓協会学術集会 ANESTHESIOLOGY 2010	アメリカ・シカゴ アメリカ・サンディエゴ	ヨーロッパ心臓病学会 2010	スウェーデン・ストックホルム	III	(3) 大学等関係機関との連携や教育研修の実習による優れた医師の養成 項目番号 03 岐阜大学地域医療医学センター及び岐阜県総合医療センター等の連携により多くの臨床研修医の受け入れと指導体制の充実を図り、特に地域医療を志す医師の養成を行う。	<p>協力型の臨床研修病院として、臨床研修プログラムで設定されている「地域医療研修（1ヶ月）」について他病院の臨床研修医の受け入れを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 岐阜大学附属病院から 3名 岐阜県総合医療センターから 4名 岐阜市民病院から 2名 	III
派遣用	派遣先													
米国心臓協会学術集会 ANESTHESIOLOGY 2010	アメリカ・シカゴ アメリカ・サンディエゴ													
ヨーロッパ心臓病学会 2010	スウェーデン・ストックホルム													
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		検証結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		検証結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		検証結果						

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																												
H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価	H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価	H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価																										
	業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項			業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項			業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項																											
<p>(4) 認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進 <u>項目番号04</u> より水準の高い看護を患者及びその家族に提供するため、認定看護師や専門看護師の資格取得を目指す看護師、また認定看護管理の資格取得を目指す管理者に対しては、中長期的に研修・講習に参加できる体制を引き続き確保する。</p>	<p>・認定看護師数 がん化学療法看護認定看護師1名 がん性疼痛看護認定看護師1名 感染管理認定看護師1名 救急看護認定看護師1名 小児救急看護認定看護師1名 摂食・嚥下障害看護認定看護師1名 皮膚・排泄ケア認定看護師3名 (平成22年度認定登録：2名)</p> <p>・研修実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定看護師</td> <td>[長期] ・感染管理 1名 派遣先：愛知医科大学 ・新生児集中ケア 1名 派遣先：広島大学 ※平成23年7月認定予定 [短期] ・認定看護管理制度 5名 ・看護教員養成講習会等 2名 ・医療全研修 2名</td> </tr> <tr> <td>学会等参加</td> <td>・日本癌治療学会学術集会 ・日本がん看護学会 ・日本看護学会 ・全国看護セミナー 他 のべ 52名</td> </tr> </tbody> </table>	項目	内容	認定看護師	[長期] ・感染管理 1名 派遣先：愛知医科大学 ・新生児集中ケア 1名 派遣先：広島大学 ※平成23年7月認定予定 [短期] ・認定看護管理制度 5名 ・看護教員養成講習会等 2名 ・医療全研修 2名	学会等参加	・日本癌治療学会学術集会 ・日本がん看護学会 ・日本看護学会 ・全国看護セミナー 他 のべ 52名	IV	<p>(4) 認定看護師や専門看護師の資格取得の促進 <u>項目番号04</u> 平成21年度は「集中ケア」「摂食・嚥下障害看護」「がん化学療法看護」の認定看護師教育に病院の支援のもと看護師を参加させ、それぞれの講義、実習を終了している。また、がん専門看護師の資格を1名取得した。 平成22年度の認定看護師教育は、希望する看護師を対象に「救急看護」「糖尿病看護」について参加させるよう計画している。</p>	<p>認定看護師や専門看護師の資格取得の促進 ・平成22年度、新たに「集中ケア」、「摂食・嚥下障害看護」、「がん化学療法看護」で各1名資格取得済み。 ○認定看護師の分野ごとの内訳 (H23.3月末現在)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>認定分野</th> <th>人数</th> <th>認定分野</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>皮膚・排泄ケア</td> <td>2名</td> <td>がん性疼痛看護</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>集中ケア</td> <td>2名</td> <td>感染管理</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア</td> <td>1名</td> <td>新生児集中ケア</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>がん化学療法看護</td> <td>1名</td> <td>摂食・嚥下障害看護</td> <td>1名</td> </tr> </tbody> </table> <p>・10月より1名、「救急看護」について講義・実習に参加した。また「糖尿病看護」については希望者がいなかったため平成23年度に延期することとした。 ・助産師を確保するため、看護師1名を衛生専門学校助産学科において1年間長期研修させ、助産師国家資格の取得のための支援を行った。→国家試験合格</p>	認定分野	人数	認定分野	人数	皮膚・排泄ケア	2名	がん性疼痛看護	1名	集中ケア	2名	感染管理	2名	緩和ケア	1名	新生児集中ケア	1名	がん化学療法看護	1名	摂食・嚥下障害看護	1名	III	<p>(4) 認定看護師や専門看護師の資格取得の促進 <u>項目番号04</u> 患者及びその家族に接する機会が多い看護職の専門性の向上及び水準の高い看護を提供するため、認定看護師及び専門看護師の資格取得を促進する。 平成22年度は、脳卒中リハビリテーション看護分野において、水準の高い看護を実践するため認定看護師取得を目指す。 また、効果的な臨床指導スキルを身につけるため臨床実習指導者研修に参加させる。</p>	<p>◆認定看護師 【脳卒中リハビリテーション】 研修1名参加 (4月21日～10月25日まで) ◆臨床指導者研修1名参加 (5月17日から7月20日まで) ◆その他の専門研修参加 ・フットケア 1名 ・透析療法従事 2名 ・摂食嚥下障害 7名 ・救急看護 1名 ・呼吸ケア 8名 ◆今後の予定 看護教員養成講習会参加と緩和ケア認定看護師資格取得を目指す。</p>	III
項目	内容																																	
認定看護師	[長期] ・感染管理 1名 派遣先：愛知医科大学 ・新生児集中ケア 1名 派遣先：広島大学 ※平成23年7月認定予定 [短期] ・認定看護管理制度 5名 ・看護教員養成講習会等 2名 ・医療全研修 2名																																	
学会等参加	・日本癌治療学会学術集会 ・日本がん看護学会 ・日本看護学会 ・全国看護セミナー 他 のべ 52名																																	
認定分野	人数	認定分野	人数																															
皮膚・排泄ケア	2名	がん性疼痛看護	1名																															
集中ケア	2名	感染管理	2名																															
緩和ケア	1名	新生児集中ケア	1名																															
がん化学療法看護	1名	摂食・嚥下障害看護	1名																															
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント																												
検証結果			検証結果			検証結果																												

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																													
H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価	H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価	H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価																																											
	業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項			業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項			業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項																																												
<p>(5) コメディカルに対する専門研修の実施 項目番号 05 診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等の医療技術者について、専門性の向上に向けた研修・講習会への参加を支援し、高度医療に対する知識・技術を有する職員を養成する。</p> <p>【中央放射線部】 ・がん診療に従事する診療放射線技師研修 ・放射線治療計画にかかる指導者研修 ・NIRS 被曝医療セミナー ・生涯学習センター『乳房検査』 ・その他各種学会、研修会等への参加</p> <p>希望人数と業務内容を考慮し、必要とされる資格の取得計画、研修会への参加計画を策定した上で、各種資格取得・研修会等への参加のための支援を行う。</p> <p>【臨床検査科】 ・細胞検査士 ・超音波検査士 ・認定輸血検査技師 ・感染制御認定臨床微生物検査技師 ・その他各種学会、研修会等への参加</p> <p>【薬剤師】 ・がん専門薬剤師 ・感染制御専門薬剤師 ・糖尿病療養指導士 ・栄養サポートチーム (NST) 専門療法士 ・その他各種学会、研修会等への参加</p> <p>【リハビリテーション科】 ・心臓リハビリテーション指導士 ・日本摂食嚥下リハビリテーション指導士 ・その他各種学会、研修会等への参加</p> <p>【管理栄養士】 ・日本糖尿病療養指導士 ・栄養サポートチーム (NST) 専門療法士 ・病態栄養専門師 ・その他各種学会、研修会等への参加</p>	<p>・診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等の医療技術者について、専門性の向上に向けた研修・講習会への参加を支援し、高度医療に対する知識・技術を有する職員を養成した。 特に、各部門では診療科の体制等に連携し、長期計画を策定したうえで人材の育成に努めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部 門</th> <th>主な参加講習会等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【中央放射線部】</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> メタストロン講習会 マンモ研修会 放射線技術学会 日本高精度放射線外部・日本定位放射線治療学会 日本腫瘍学会 放射線治療研修 </td> </tr> <tr> <td>【臨床検査科】</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 講習会、研修会開催 26回 (内院内20回) 学会・講習会・研修会への参加のべ84回 資格取得 超音波検査士 1 </td> </tr> <tr> <td>【薬剤師】</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 「栄養サポートチーム専門療法士」認定試験受験 合格 日本緩和医療学会学術大会 日本褥瘡学会学術集会 日本癌学会学術シンポジウム 日本薬剤師学会学術大会 日本糖尿病療養指導士認定機構主催認定更新者用講習会 がん専門薬剤師研修 </td> </tr> <tr> <td>【リハビリテーション科】</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 岐阜県嚥下障害研究会 初級課程講習会 3学会合同呼吸療法認定士認定講習会 心臓リハビリテーション指導士スキルアップセミナー がんのリハビリテーションセミナーリンパ浮腫研修 </td> </tr> <tr> <td>【管理栄養士】</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 日本糖尿病療養指導士 (2名) ①登録更新のため講習会参加 ②資格取得研修 栄養サポートチーム専門療法士 (1名取得) その他 ①岐阜県栄養士協議会研修 ②日本静脈経腸栄養学会 ③日本病態栄養学会 </td> </tr> </tbody> </table>	部 門	主な参加講習会等	【中央放射線部】	<ul style="list-style-type: none"> メタストロン講習会 マンモ研修会 放射線技術学会 日本高精度放射線外部・日本定位放射線治療学会 日本腫瘍学会 放射線治療研修 	【臨床検査科】	<ul style="list-style-type: none"> 講習会、研修会開催 26回 (内院内20回) 学会・講習会・研修会への参加のべ84回 資格取得 超音波検査士 1 	【薬剤師】	<ul style="list-style-type: none"> 「栄養サポートチーム専門療法士」認定試験受験 合格 日本緩和医療学会学術大会 日本褥瘡学会学術集会 日本癌学会学術シンポジウム 日本薬剤師学会学術大会 日本糖尿病療養指導士認定機構主催認定更新者用講習会 がん専門薬剤師研修 	【リハビリテーション科】	<ul style="list-style-type: none"> 岐阜県嚥下障害研究会 初級課程講習会 3学会合同呼吸療法認定士認定講習会 心臓リハビリテーション指導士スキルアップセミナー がんのリハビリテーションセミナーリンパ浮腫研修 	【管理栄養士】	<ul style="list-style-type: none"> 日本糖尿病療養指導士 (2名) ①登録更新のため講習会参加 ②資格取得研修 栄養サポートチーム専門療法士 (1名取得) その他 ①岐阜県栄養士協議会研修 ②日本静脈経腸栄養学会 ③日本病態栄養学会 	IV	<p>(5) コメディカルに対する専門研修の実施 項目番号 05 最新の高度医療に対応できる技術・知識を有する職員を養成するため、厚生労働省及び岐阜県が主催する講習会、研修会の参加支援、また、各種認定資格の取得のための支援を行う。</p> <p>【薬剤師】 ・がん薬物療法認定薬剤師 ・糖尿病療養指導士 ・栄養サポートチーム (NST) 専門療養指導士 ・感染制御認定薬剤師 ・日本薬剤師会認定薬剤師</p> <p>【中央放射線部】 ・がん診療に従事する診療放射線技師研修 ・放射線治療計画にかかる指導者研修 ・NIRS被曝医療セミナー ・生涯学習センター『乳房検査』</p> <p>【臨床検査科】 ・細胞検査士 ・超音波検査士 ・認定輸血検査技師 ・感染制御認定臨床微生物検査技師 ・その他各種学会、研修会への参加</p> <p>【リハビリテーション科】 心臓リハビリテーション指導士 日本摂食嚥下リハビリテーション認定士</p> <p>【栄養管理部】 ・日本糖尿病療養指導士機関認定の糖尿病指導士</p>	<p>コメディカルに対する専門研修の実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>【薬剤師】</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>栄養サポートチーム (NST) 専門療養指導士</td> <td>1名取得のための支援を行った。</td> </tr> <tr> <td>インфекションコントロールクター (ICD)</td> <td>資格取得 1名</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>日本医療薬学会が専門薬剤師研修施設として認定された。</td> </tr> </tbody> </table> <p>【中央放射線部】 医療機器安全管理責任者養成講習会 6月27日に名古屋市で開催された講習会に1名参加 乳房腫瘍ガイドライン・精度管理研修会 9月25日・26日に名古屋で開催された講習会に1名参加し、検診マンモグラフィ撮影技術認定を受けた。 マンモグラフィ技術更新講習会 10月30日に名古屋市で開催された講習会に1名参加し、検診マンモグラフィ撮影技術認定更新を受けた。 医療安全教育セミナー 医療安全教育セミナー2010年度冬季 (1月19日～21日 東京都) に1名参加 その他 各種セミナー、放射線技師基礎講習に参加</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>【臨床検査科】</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緊急検査士</td> <td>資格取得 1名</td> </tr> <tr> <td>細胞検査士</td> <td>1名取得のための支援を行った。</td> </tr> <tr> <td>超音波検査士</td> <td>1名取得のための支援を行った。</td> </tr> <tr> <td>各種二種臨床検査士</td> <td>1名取得のための支援を行った。</td> </tr> <tr> <td>各種学会、研修会参加支援</td> <td>各種学会 (13名)、各種研修会 (5名) の参加支援を行った。</td> </tr> </tbody> </table> <p>【リハビリテーション科】 ・6月より心疾患リハビリテーション開設 ・日本心臓リハビリテーション学会に登録 (H22.2.1)。 ・今後、心臓リハビリテーション指導士資格取得を目指す。(4名程度 学会に所属し、2年継続して学会活動に参加する必要がある)</p> <p>【栄養管理部】 日本糖尿病療養指導士機関認定の糖尿病指導士 資格取得 1名 また糖尿病療養指導士資格取得のため、管理栄養士1名に対し、必要な研修を受講させるなどの支援を行った。(11月に研修受講済み。23年度取得予定)</p>	【薬剤師】		栄養サポートチーム (NST) 専門療養指導士	1名取得のための支援を行った。	インфекションコントロールクター (ICD)	資格取得 1名	その他	日本医療薬学会が専門薬剤師研修施設として認定された。	【臨床検査科】		緊急検査士	資格取得 1名	細胞検査士	1名取得のための支援を行った。	超音波検査士	1名取得のための支援を行った。	各種二種臨床検査士	1名取得のための支援を行った。	各種学会、研修会参加支援	各種学会 (13名)、各種研修会 (5名) の参加支援を行った。	III	<p>(5) コメディカルに対する専門研修の実施 項目番号 05 薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師等の技術職について、研修等を充実し、専門技能の向上を図る。</p> <p>◆平成22年度参加人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>延べ参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤師</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>検査技師</td> <td>10名</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技師</td> <td>8名</td> </tr> <tr> <td>リハビリ技師</td> <td>10名</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>1名</td> </tr> </tbody> </table> <p>コメディカルの研修会、学会への参加に対して経費的支援を行い、専門技術・技能の向上を図った。</p>	職種	延べ参加人数	薬剤師	2名	検査技師	10名	臨床工学技師	8名	リハビリ技師	10名	管理栄養士	1名	III
部 門	主な参加講習会等																																																		
【中央放射線部】	<ul style="list-style-type: none"> メタストロン講習会 マンモ研修会 放射線技術学会 日本高精度放射線外部・日本定位放射線治療学会 日本腫瘍学会 放射線治療研修 																																																		
【臨床検査科】	<ul style="list-style-type: none"> 講習会、研修会開催 26回 (内院内20回) 学会・講習会・研修会への参加のべ84回 資格取得 超音波検査士 1 																																																		
【薬剤師】	<ul style="list-style-type: none"> 「栄養サポートチーム専門療法士」認定試験受験 合格 日本緩和医療学会学術大会 日本褥瘡学会学術集会 日本癌学会学術シンポジウム 日本薬剤師学会学術大会 日本糖尿病療養指導士認定機構主催認定更新者用講習会 がん専門薬剤師研修 																																																		
【リハビリテーション科】	<ul style="list-style-type: none"> 岐阜県嚥下障害研究会 初級課程講習会 3学会合同呼吸療法認定士認定講習会 心臓リハビリテーション指導士スキルアップセミナー がんのリハビリテーションセミナーリンパ浮腫研修 																																																		
【管理栄養士】	<ul style="list-style-type: none"> 日本糖尿病療養指導士 (2名) ①登録更新のため講習会参加 ②資格取得研修 栄養サポートチーム専門療法士 (1名取得) その他 ①岐阜県栄養士協議会研修 ②日本静脈経腸栄養学会 ③日本病態栄養学会 																																																		
【薬剤師】																																																			
栄養サポートチーム (NST) 専門療養指導士	1名取得のための支援を行った。																																																		
インфекションコントロールクター (ICD)	資格取得 1名																																																		
その他	日本医療薬学会が専門薬剤師研修施設として認定された。																																																		
【臨床検査科】																																																			
緊急検査士	資格取得 1名																																																		
細胞検査士	1名取得のための支援を行った。																																																		
超音波検査士	1名取得のための支援を行った。																																																		
各種二種臨床検査士	1名取得のための支援を行った。																																																		
各種学会、研修会参加支援	各種学会 (13名)、各種研修会 (5名) の参加支援を行った。																																																		
職種	延べ参加人数																																																		
薬剤師	2名																																																		
検査技師	10名																																																		
臨床工学技師	8名																																																		
リハビリ技師	10名																																																		
管理栄養士	1名																																																		

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院						
H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価 業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価 業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価 業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価				
				<table border="1"> <tr> <td>栄養サポートチーム (NST) 専門 養士</td> <td>資格取得のため、必要な研修を受 けさせるなどの支援を行った。</td> </tr> <tr> <td>病態栄養専門師</td> <td>資格取得のため、必要な研修を受 けさせるなどの支援を行った。</td> </tr> </table>	栄養サポートチーム (NST) 専門 養士	資格取得のため、必要な研修を受 けさせるなどの支援を行った。	病態栄養専門師	資格取得のため、必要な研修を受 けさせるなどの支援を行った。				
栄養サポートチーム (NST) 専門 養士	資格取得のため、必要な研修を受 けさせるなどの支援を行った。											
病態栄養専門師	資格取得のため、必要な研修を受 けさせるなどの支援を行った。											
◎特筆すべき点・進捗状況評価に に関する意見・その他コメント		検証 結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に に関する意見・その他コメント		検証 結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に に関する意見・その他コメント		検証 結果				

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																																																																																																				
H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価 業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価 業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価 業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価																																																																																																																		
(6) EBMの推進 項目番号06 既存のクリニカルパスを細部まで見直し、各種診療ガイドライン等に基づきDPCに対応したクリニカルパスに改定する。また、病棟間により意見交換を行うなど作成されたクリニカルパスを検証することにより最適化されたクリニカルパスの推進に取り組み、医療の質の改善、向上を図る。また、クリニカルパス推進活動の一環として関係部門のスタッフが参加するクリニカルパス大会を実施し、新規クリニカルパスの紹介、改訂クリニカルパスの報告、DPC関連データの報告などを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・クリニカルパスの見直し・改定を実施した。 ・平成23年2月に84名（内院外34名）の参加により、リハビリテーション（心臓、呼吸器疾患）、5大がんパス等についてクリニカルパス大会を実施した。 ・診療科別クリニカルパス数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>診療科</th> <th>クリニカルパス数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>外科</td><td>57</td></tr> <tr><td>小児科</td><td>42</td></tr> <tr><td>産婦人科</td><td>25</td></tr> <tr><td>整形外科</td><td>24</td></tr> <tr><td>眼科</td><td>23</td></tr> <tr><td>その他</td><td>133</td></tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・パスの適用状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>診療科</th> <th>入院患者数</th> <th>適用件数</th> <th>適用率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>眼科</td><td>596</td><td>589</td><td>98.8%</td></tr> <tr><td>小児科</td><td>1373</td><td>1340</td><td>97.6%</td></tr> <tr><td>歯科口腔外科</td><td>195</td><td>172</td><td>88.2%</td></tr> <tr><td>小児心臓外科</td><td>108</td><td>92</td><td>85.2%</td></tr> <tr><td>小児循環器内科</td><td>294</td><td>242</td><td>82.3%</td></tr> <tr><td>産婦人科</td><td>1331</td><td>1083</td><td>81.4%</td></tr> <tr><td>泌尿器科</td><td>928</td><td>733</td><td>79.0%</td></tr> <tr><td>皮膚科</td><td>223</td><td>163</td><td>73.1%</td></tr> <tr><td>整形外科</td><td>808</td><td>588</td><td>72.8%</td></tr> <tr><td>小児外科</td><td>70</td><td>50</td><td>71.4%</td></tr> <tr><td>循環器内科</td><td>2360</td><td>1652</td><td>70.0%</td></tr> <tr><td>外科</td><td>1141</td><td>787</td><td>69.0%</td></tr> <tr><td>耳鼻咽喉科</td><td>335</td><td>220</td><td>65.7%</td></tr> <tr><td>乳腺外科</td><td>173</td><td>110</td><td>63.6%</td></tr> <tr><td>糖尿病・内分泌内科</td><td>228</td><td>110</td><td>48.2%</td></tr> <tr><td>消化器内科</td><td>1249</td><td>329</td><td>26.3%</td></tr> <tr><td>腎臓内科</td><td>295</td><td>42</td><td>14.2%</td></tr> <tr><td>その他</td><td>2192</td><td>35</td><td>1.6%</td></tr> <tr><td>総計</td><td>13899</td><td>8337</td><td>60.0%</td></tr> </tbody> </table>	診療科	クリニカルパス数	外科	57	小児科	42	産婦人科	25	整形外科	24	眼科	23	その他	133	診療科	入院患者数	適用件数	適用率	眼科	596	589	98.8%	小児科	1373	1340	97.6%	歯科口腔外科	195	172	88.2%	小児心臓外科	108	92	85.2%	小児循環器内科	294	242	82.3%	産婦人科	1331	1083	81.4%	泌尿器科	928	733	79.0%	皮膚科	223	163	73.1%	整形外科	808	588	72.8%	小児外科	70	50	71.4%	循環器内科	2360	1652	70.0%	外科	1141	787	69.0%	耳鼻咽喉科	335	220	65.7%	乳腺外科	173	110	63.6%	糖尿病・内分泌内科	228	110	48.2%	消化器内科	1249	329	26.3%	腎臓内科	295	42	14.2%	その他	2192	35	1.6%	総計	13899	8337	60.0%	III	(6) EBMの推進 項目番号06 各診療科において学会における診療ガイドラインに基づいたクリニカルパスを作成し、治療の標準化を目指す。 EBM（Evidence Based Medicineの略、科学的根拠に基づいた医療）の実践を推進するため、治療成績や手術、検査などの実績について検証する。	EBMの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・各診療科、疾病別に院内クリニカルパスを14件作成し、累計で143件となった。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>診療科</th> <th>パス数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>産婦人科</td><td>23</td></tr> <tr><td>整形外科</td><td>17</td></tr> <tr><td>呼吸器科</td><td>15</td></tr> <tr><td>外科・消化器外科</td><td>14</td></tr> <tr><td>その他</td><td>74</td></tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・各科においては、ガイドラインやクリニカルパスに基づいた診療を行っており、治療成績や実績をホームページで記載している。 ○クリニカルパス使用件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>増減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>使用件数</td> <td>3,760件</td> <td>5,597件</td> <td>+48.9%</td> </tr> </tbody> </table>	診療科	パス数	産婦人科	23	整形外科	17	呼吸器科	15	外科・消化器外科	14	その他	74	年度	H21	H22	増減率	使用件数	3,760件	5,597件	+48.9%	III	(6) EBMの推進 項目番号06 学会の診療ガイドライン等に基づいたクリニカルパス（入院患者に対する治療の計画を示した日程表）積極的な活用に取り組むことにより、医療の質の改善、向上及び標準化を図り、科学的根拠に基づいた医療（EBM：Evidence Based Medicine）を提供する。 また、電子カルテを中心とする医療総合情報システムをより有効に活用し、医療水準の向上及び診療内容の標準化を進める。	高齢の入院患者の割合が高いことなど、クリニカルパスの作成が難しい現状においても、パスの作成、活用に取り組んだ。 ◆整形外科領域 特定の疾患に対してのパスを20件作成し、平成23年度より作成したパスを適用し診療を開始する予定。 ◆産科領域 産科関連パスを12件作成し、ほぼ100%適用して22年度は713件の診療を実施し、医療の質の改善・向上を図った。 また、電子カルテ運用においては、診療の標準化を図るためのシステム設定を必要に応じ実施し、医療情報システムの有効活用に努めた。	III
診療科	クリニカルパス数																																																																																																																									
外科	57																																																																																																																									
小児科	42																																																																																																																									
産婦人科	25																																																																																																																									
整形外科	24																																																																																																																									
眼科	23																																																																																																																									
その他	133																																																																																																																									
診療科	入院患者数	適用件数	適用率																																																																																																																							
眼科	596	589	98.8%																																																																																																																							
小児科	1373	1340	97.6%																																																																																																																							
歯科口腔外科	195	172	88.2%																																																																																																																							
小児心臓外科	108	92	85.2%																																																																																																																							
小児循環器内科	294	242	82.3%																																																																																																																							
産婦人科	1331	1083	81.4%																																																																																																																							
泌尿器科	928	733	79.0%																																																																																																																							
皮膚科	223	163	73.1%																																																																																																																							
整形外科	808	588	72.8%																																																																																																																							
小児外科	70	50	71.4%																																																																																																																							
循環器内科	2360	1652	70.0%																																																																																																																							
外科	1141	787	69.0%																																																																																																																							
耳鼻咽喉科	335	220	65.7%																																																																																																																							
乳腺外科	173	110	63.6%																																																																																																																							
糖尿病・内分泌内科	228	110	48.2%																																																																																																																							
消化器内科	1249	329	26.3%																																																																																																																							
腎臓内科	295	42	14.2%																																																																																																																							
その他	2192	35	1.6%																																																																																																																							
総計	13899	8337	60.0%																																																																																																																							
診療科	パス数																																																																																																																									
産婦人科	23																																																																																																																									
整形外科	17																																																																																																																									
呼吸器科	15																																																																																																																									
外科・消化器外科	14																																																																																																																									
その他	74																																																																																																																									
年度	H21	H22	増減率																																																																																																																							
使用件数	3,760件	5,597件	+48.9%																																																																																																																							
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント																																																																																																																				
検証結果			検証結果			検証結果																																																																																																																				

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																					
H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価	H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価	H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価																			
	業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項			業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項			業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項																				
<p>(7) 医療安全対策の充実 項目番号 07</p> <p>医療安全管理マニュアルを必要に応じ改訂し、部署別医療事故防止対策の徹底を図る。また、事故調査委員会において、医療事故の再発防止のため、リスクを回避するための方策を検討し、改善方策の共有化、安全管理に関する研修を充実させるなど、事故予防の徹底と予防意識の醸成を図る。</p>	<p>・予防意識醸成のため、職員を対象とした医療安全研修会を14回実施した。</p> <p>・月次でインシデント・アクシデントの統計を取り、看護師長会や管理会議へ報告し、注意喚起した。</p> <p>・インシデント、アクシデントの発生状況</p> <table border="1"> <tr><td>レベル0</td><td>327件</td></tr> <tr><td>レベル1</td><td>1003件</td></tr> <tr><td>レベル2</td><td>713件</td></tr> <tr><td>レベル3</td><td>152件</td></tr> <tr><td>レベル4</td><td>1件</td></tr> </table>	レベル0	327件	レベル1	1003件	レベル2	713件	レベル3	152件	レベル4	1件	III	<p>(7) 医療安全対策の充実 項目番号 07</p> <p>医療の質及び安全の確保を目指し、誤認防止(タイムアウトなど)、伝達エラー防止、安全な手技実施の手順、薬剤の安全使用、ハイリスクな診療行為の患者観察などを課題として、インシデント、アクシデントレポートの集積分析を活用し、医療安全管理者、医薬品安全管理者、医療機器安全管理者及び各部署のリスクマネージャーの役割や責任、権限について検討し、明確化する。</p> <p>院内で年2回の研修会及び各部署における事例検討を重ね、全職員に対し、事例及び対策などの情報共有を図る。</p>	<p>医療安全対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インシデントレポートは年間1,991件で、アクシデントレポートは年間20件であった。 ・タイムアウトについては22年度は全身麻酔手術について、また23年度は局所麻酔手術も含め、全例で実施することとなった。 ・毎月医療安全委員会を開催し、インシデント、アクシデントレポートの集積分析を行うとともに、管理会議にて報告し、院内に周知、啓蒙を行った。 ・医療安全のための職員研修を以下のとおり実施し、事例や対策などの情報共有を図った。 <table border="1"> <thead> <tr><th>開催日</th><th>テーマ</th><th>参加人数</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>10月4日</td><td>抗凝固剤及び抗血小板剤の投与に関するシンポジウム</td><td>90人</td></tr> <tr><td>3月10日</td><td>法律家から見た医療事故・紛争・訴訟対応～説明とクレーム～</td><td>192人</td></tr> </tbody> </table>	開催日	テーマ	参加人数	10月4日	抗凝固剤及び抗血小板剤の投与に関するシンポジウム	90人	3月10日	法律家から見た医療事故・紛争・訴訟対応～説明とクレーム～	192人	III	<p>(7) 医療安全対策の充実 項目番号 07</p> <p>○チーム医療の推進 あらゆる部門や職種を超えた良好なコミュニケーションの下に、専門職が一つになって総合的に医療を行うとともに、より専門的かつ安全な診療を実現するために、内科系医師・外科系医師・看護師などの構成員によるチーム医療をより一層推進する。</p> <p>○インシデント・アクシデント報告の分析及び改善方策の共有化 院内の医療安全対策室において、医療総合情報システムを活用し、インシデント及びアクシデントに関する情報の収集及び分析に努め、リスクを回避する方策の立案や、対策実施後の評価等を定期的に討議し、医療事故の再発防止及び予防の徹底を図る。</p> <p>また、分析結果及び改善方策について、医療総合情報システムにより情報の共有化を図る。</p> <p>○安全管理に関する研修体制の充実 全職員が患者の安全を最優先にして万全な対応を行うことができるように、情報の収集・分析による医療安全対策の徹底及び医療安全文化の醸成など安全管理に関する研修体制を整備する。</p> <p>平成22年度も10月に院内全職員を対象とした医療安全推進大会を実施する。</p>	<p>○チーム医療の推進</p> <p>医療安全管理委員会 : 12回開催 医療安全対策室会議 : 12回開催 医療安全対策室小会議 : 45回開催 医療安全推進担当者会 : 7回開催 看護事故防止委員会 : 12回開催 褥瘡対策委員会 : 12回開催 看護部スキンケア委員会 : 12回開催</p> <p>その他、インシデント・アクシデント発生時の対応など医療安全対策室専従看護師が必要により、各部門との情報収集・意見交換、連絡・調整・相談などを日々実施した。</p> <p>○インシデント・アクシデント報告の分析及び改善方策の共有化</p> <p>◆リスクマネジメントシステム SafeProducer を利用し、毎月のインシデント・アクシデントのまとめとインシデントレベル2及び3(事故報告書)について各会議にて分析・検討し対策立案を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全管理委員会で報告・検討した事例 インシデント・アクシデントより 12件 その他 10件 ・検討し対策が決定した事項 : 9件 ・医療安全管理マニュアルの見直し整備 3件 <p>◆各メディアの活用 : 日本医療機能評価機構・看護協会等から、医療安全に係わる医療安全情報を収集し、サイボウズ(院内グループウェア)を利用し職員に周知した。</p> <p>医療安全対策室便りの発行数 : 32回 各メディアからの医療安全情報 : 14回 その他必要時、サイボウズの掲示板にコメントを掲載した。</p> <p>○医療安全管理に関する研修体制の充実</p> <p>医療安全全職員研修会 : 4回 定期的研修会 : 11回 インシデント・アクシデントより 臨時研修会 : 6回 新人・看護補助者対象研修会 : 5回 BLS研修会 : 3回 院内褥瘡対策研修会の開催 : 8回</p>	III
レベル0	327件																										
レベル1	1003件																										
レベル2	713件																										
レベル3	152件																										
レベル4	1件																										
開催日	テーマ	参加人数																									
10月4日	抗凝固剤及び抗血小板剤の投与に関するシンポジウム	90人																									
3月10日	法律家から見た医療事故・紛争・訴訟対応～説明とクレーム～	192人																									
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		検証結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		検証結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		検証結果																			

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院		
H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価
<p>(8) 院内感染の発生原因の究明及び防止対策の確立のための体制整備</p> <p>項目番号 08</p> <p>院内感染防止マニュアル・各種予防策等、日々の感染防止策の遵守状況を定期的に観察し、問題点を明らかにする。それを踏まえ、感染防止委員会や感染症対策部において、感染防止訓練や研修会の実施、院内感染防止マニュアルの周知徹底・啓発を図り、改善を促す。</p>	<p>・マニュアルに沿った感染防止対策を推進するため、毎月1回感染管理専門医師及び看護師等による各部署の巡視を行い、指導・教育を行った。</p> <p>・感染防止委員会を毎月第3木曜日に開催し、感染症情報、抗菌薬使用状況について報告を行うとともにインフルエンザ対策など適時な議題について協議検討を行った。</p> <p>・感染防止研修会の開催</p> <p>全職員を対象とした研修を年4回(延10日)開催したほか、看護師を対象とした学習会などを実施。延べ2,702名が参加した。</p>	III	<p>(8) 院内感染の発生原因の究明及び防止対策の確立のための体制整備</p> <p>項目番号 08</p> <p>感染管理看護師を中心としたサーベイランス、コンサルテーションにより、各部署のリンクナースを強化するとともに、手洗いキャンペーンの継続実施、感染防止マニュアルの見直しにより、院内の感染防止対策に努める。</p> <p>インフルエンザなど感染症患者が発生した場合には、認定看護師を中心とした院内感染防止委員会にて、すみやかに対応を協議し、感染拡大の防止に努める。</p>	<p>院内感染の発生原因の究明及び防止対策の確立のための体制整備</p> <p>・従来、手術室に配置していた感染管理看護師を当該業務の専従とし、感染管理看護師を中心として、月例の感染防止委員会に加え、週1回のICT(Infection Control Teamの略、感染防止対策チーム)ラウンドを実施(毎週金曜日15時から実施)した。院内感染事例の把握を行うとともに感染防止対策の実施状況の把握・指導を行った。</p> <p>・院内職員及び外来患者向けの手洗いキャンペーン(11月10日)を実施した。</p> <p>・病棟や外来で発生した感染性胃腸炎(感染性下痢症)やインフルエンザA型の患者に対し、ICTメンバーが中心となり、環境整備や手指衛生といった感染対策の強化を図り、院内感染拡大を防止した。</p>	IV	<p>(8) 院内感染の発生原因の究明及び防止対策の確立のための体制整備</p> <p>項目番号 08</p> <p>院内に複数の医療職から構成する院内感染対策室を設置し、職員に対する院内防止対策(マニュアル)の周知徹底・啓発を行うとともに、定期的に感染対策委員会を開催し、感染の状況や感染対策活動の評価等を行う。</p>	<p>「院内感染対策指針」の改訂と配布による周知、勉強会・NEWSレターによる防止対策の啓発を実施。また感染管理教育として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新任看護師研修 (年4回、対象12名) ・看護補助職員研修 (年4回、対象26名) ・全体研修 (5/18:90名、3/11:57名) ・各部署研修(随時) <p>を行った。</p> <p>感染状況、対策活動評価を行う「感染対策委員会」を定期(月1回 計12回)開催、感染防止対策の体制整備を図った。</p>	III
◎特筆すべき点・進捗状況評価に	に関する意見・その他コメント	検証 結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に	に関する意見・その他コメント	検証 結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に	に関する意見・その他コメント	検証 結果

県立病院法人（三病院共通）委員検証シート

1-1-2 患者・住民サービスの向上

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																						
H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価 業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価 業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価 業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価																																				
<p>(1) 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等 項目番号 09</p>	<p>○外来待ち時間対策 ・検査・診察・治療を患者に合わせてオーダーすることによって院内滞在時間の縮減を図った。</p> <p>① 検査が必要な患者に対しては検査を先に実施。 ② 看護師による指導を必要とする患者に対しての指導・説明を待ち時間に実施。 ③ 入院決定患者に対する入院説明は、入院説明室を設置したことで一元化し、外来診療科での滞在時間の縮小を図った。</p> <p>・待ち時間の有効活用。 1. 待ち時間に待合室を離れる患者に対して、希望により携帯電話による呼び出しを行うことで、待ち時間を有効に利用していただけるよう便宜を図っている。 2. 診療科に即したパンフレットや図書を配置。 3. 病診連携による紹介患者については、診察予約時間 30 分以内の診察を徹底した。</p> <p>○手術室の状況 ・時間内稼働率 (H21 : 51.6%→H22 : 55.2%) ・総手術件数 (H21 : 5,050 件→H22 : 5,407 件)</p>	IV	<p>(1) 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等 項目番号 09</p> <p>診療時間帯の延長、検査機械の稼働率向上化、医師等の配置及び手術室の運用の改善等による手術実施体制の再整備により、診療待ち時間の短縮や検査、手術待ちの改善を図る。</p> <p>具体的には、新病棟完成後の空きスペースを活用して処置、点滴、採血などが出来るように検討する。また、医療連携を充実させ当院の診療体制や機能について患者自身に認識させることで効率的な診療を目指す。</p> <p>CT、MRI などの画像診断については、放射線科内部のスキルアップや、検査内容の再検討により 1 日当たりの検査件数増加を図る。</p> <p>手術については、外科系医師の増員（整形外科、耳鼻咽喉科など）と手術室の有効利用（午前中の手術の増加、空き時間の活用）により 1 日当たりの手術件数増加を目指す。</p> <p>年度の前半に、待ち時間の実態調査を実施し、その結果を踏まえて、年度の後半により具体的な改善策を検討する。</p>	<p>待ち時間及び検査・手術待ちの改善等</p> <p>・患者の利便性向上、身体的負担の軽減を目的に、新病棟に内部機能が移転したことに伴い使用されなくなった空きスペースを有効活用するため、下記のとおり整備を計画し、施工業者を決定し、工事の準備に着手した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>変更前</th> <th>面積</th> <th>変更後</th> <th>変更の理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央診療棟1階 薬剤部・化学療法治療室</td> <td>㎡ 477.71</td> <td>内視鏡室 外来点滴カク（新設）</td> <td>・患者様のプライバシー保護 ・検査後のかみそり確保 ・執務環境の改善等 ・各診療科の処置用バグの不足 ・各診療科の点滴を集約して施し効率的管理</td> </tr> <tr> <td>東病棟1階 内視鏡室</td> <td>126.00</td> <td>中央採血室</td> <td>・採血バグの拡充 ・専用の採血室の確保</td> </tr> <tr> <td>東病棟1階中 中央採血室</td> <td>35.10</td> <td>救急外来手術室</td> <td>・応急手術室機能を拡充</td> </tr> </tbody> </table> <p>・放射線科内部のスキルアップ等によって CT、MRI などの検査件数の増加を図ることに成功した。</p> <p>OCT、MRI 検査件数の対前年度比較</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>増減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT 件数</td> <td>23,023 件</td> <td>24,319 件</td> <td>+5.6%</td> </tr> <tr> <td>MRI 件</td> <td>7,548 件</td> <td>7,640 件</td> <td>+1.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・平成 23 年度から午前中の手術開始時間を早めたり、委託業者配置人員の増員などにより手術件数の増加を図ることが決定された。</p> <p>○手術件数の対前年度比較</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>増減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手術件数</td> <td>4,315 件</td> <td>4,595 件</td> <td>+6.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・平成 23 年 1 月に外来待ち時間調査を実施し、待ち時間の把握を行った。</p>	変更前	面積	変更後	変更の理由	中央診療棟1階 薬剤部・化学療法治療室	㎡ 477.71	内視鏡室 外来点滴カク（新設）	・患者様のプライバシー保護 ・検査後のかみそり確保 ・執務環境の改善等 ・各診療科の処置用バグの不足 ・各診療科の点滴を集約して施し効率的管理	東病棟1階 内視鏡室	126.00	中央採血室	・採血バグの拡充 ・専用の採血室の確保	東病棟1階中 中央採血室	35.10	救急外来手術室	・応急手術室機能を拡充	年度	H21	H22	増減率	CT 件数	23,023 件	24,319 件	+5.6%	MRI 件	7,548 件	7,640 件	+1.2%	年度	H21	H22	増減率	手術件数	4,315 件	4,595 件	+6.5%	III	<p>(1) 待ち時間の改善等 項目番号 09</p> <p>待ち時間等の実態を把握し、総合的な待ち時間対策に取り組む。</p>	<p>今期において待ち時間の問題が顕在してはいないが、外来受診時のアンケート調査時に待ち時間に関する要望があったため待ち時間対策として</p> <p>◆診察の遅れについては、できるだけ正確に診察の進行状況の情報を提供 ◆看護師による待合室の巡視（患者の急変や気分不快等の早期発見に努める） ◆小児科外来は図書コーナーを設置、また全体には小冊子等を目につきやすいところに置くよう努めた。</p>	III
変更前	面積	変更後	変更の理由																																									
中央診療棟1階 薬剤部・化学療法治療室	㎡ 477.71	内視鏡室 外来点滴カク（新設）	・患者様のプライバシー保護 ・検査後のかみそり確保 ・執務環境の改善等 ・各診療科の処置用バグの不足 ・各診療科の点滴を集約して施し効率的管理																																									
東病棟1階 内視鏡室	126.00	中央採血室	・採血バグの拡充 ・専用の採血室の確保																																									
東病棟1階中 中央採血室	35.10	救急外来手術室	・応急手術室機能を拡充																																									
年度	H21	H22	増減率																																									
CT 件数	23,023 件	24,319 件	+5.6%																																									
MRI 件	7,548 件	7,640 件	+1.2%																																									
年度	H21	H22	増減率																																									
手術件数	4,315 件	4,595 件	+6.5%																																									
◎特筆すべき点・進捗状況評価に	に関する意見・その他コメント	検証結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に	に関する意見・その他コメント	検証結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に	に関する意見・その他コメント	検証結果																																				

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																														
H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価	H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価	H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	自己評価																												
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項																													
<p>・検査の効率的な実施や検査機器の稼働率向上等により、検査待ち時間の改善に向けた検討を行う。</p> <p>・医師等の配置及び手術室の運用の改善等により、手術の実施体制を再整備し、手術待ち時間の改善に向けた検討を行う。</p>	<p>○臨床検査部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技師の増員配置 H21：4名 → H22：5.5名 ・検査予約枠の変更 H21.6～予約枠の運用基準見直しを行い、患者毎の優先度に応じてより柔軟な予約を行うこととした。 ・稼働率向上による超音波検査件数の増 H21：10,376件 → H22：11,091件 (6.9%増) ・超音波検査待ち時間の短縮 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>総数</th> <th>60～90分</th> <th>90分超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H21.4</td> <td>1,280</td> <td>13.1%</td> <td>6.6%</td> </tr> <tr> <td>H22.4</td> <td>1,208</td> <td>23.2%</td> <td>3.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・採血室：採血開始時間を業務開始前に繰り上げる ことによる待ち時間の解消。</p> <p>○中央放射線部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更衣室の増設 MR検査受診者用の更衣室を3室から4室に増設したことに伴い、2機の検査機器の効率的運用ができた。 ・検査技師の柔軟な配置 検査件数や予約件数により、人員配置を随時見直すことにより、検査の効率化を図った。 ・稼働率 (検査件数/年) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>CT 外来</th> <th>CT 入院</th> <th>MR 外来</th> <th>MR 入院</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H 2 1</td> <td>19,236</td> <td>4,856</td> <td>6,973</td> <td>1,440</td> </tr> <tr> <td>H 2 2</td> <td>21,798</td> <td>5,514</td> <td>7,412</td> <td>1,663</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・検査待ち日数 (CT) H21：14日 → H22：10日 (MR) H21：21日 → H22：17日 <p>・手術の内容に応じた手術枠の弾力的運用及び麻酔科医の増員により、手術室稼働率の向上を図り手術待ち時間を短縮できた。 時間内稼働率 (H21：51.6%→H22：55.2%) 総手術件数 (H21：5,050件→H22：5,407件)</p>		総数	60～90分	90分超	H21.4	1,280	13.1%	6.6%	H22.4	1,208	23.2%	3.3%		CT 外来	CT 入院	MR 外来	MR 入院	H 2 1	19,236	4,856	6,973	1,440	H 2 2	21,798	5,514	7,412	1,663								
	総数	60～90分	90分超																																	
H21.4	1,280	13.1%	6.6%																																	
H22.4	1,208	23.2%	3.3%																																	
	CT 外来	CT 入院	MR 外来	MR 入院																																
H 2 1	19,236	4,856	6,973	1,440																																
H 2 2	21,798	5,514	7,412	1,663																																
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント																														
				検証結果			検証結果																													

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院		
H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価
<p>(2) 院内環境の快適性向上 項目番号10</p> <p>・患者や来院者により快適な環境を提供するため、進行中の改修工事、次期発注工事の内容についても検討を行い、ニーズに合った院内環境の整備に努め、院内施設の案内表示等の改善や病室、待合室、トイレ等を計画的に改修・補修し、快適な院内環境を整備する。</p> <p>・患者ニーズを踏まえ、院内売店の面積を拡大し、飲食物・アメニティグッズ等の種類・量を充実させる。</p> <p>・治療効果を上げるための栄養管理を充実し、患者の嗜好に配慮した選択メニューを拡充するため、患者サービス満足度調査を実施し、病院給食の改善を図る。</p>	<p>・平成22年度から時間外（特に救急外来）の患者需要に対応するため、マスクの自動販売機を設置した。</p> <p>・旧病棟等の解体及び外構工事を行い、駐車台数の増による混雑の解消を図った。（約250台の増）（完成は平成23年4月末）</p> <p>・院内売店を情報交流棟2階に移動（22年2月）面積を拡大し、患者ニーズを反映させ、飲食物等の種類・量・取扱品目を充実させ、入院患者の利便性を向上させた。 【例：口腔ケア用品の取り扱いを開始】</p> <p>・平成22年度嗜好調査を実施した。その結果を日々の給食管理に反映した。 調査内容：食欲、主・副食の状況（喫食状況、残渣の理由、炊き方・味付け、味、種類等）、満足度、自由意見等 実施日：平成23年1月19日 対象者：一般食患者115人（回答55人） 特別食患者 93人（回答63人）</p> <p>・特別な対策の実例 陣痛により食事がとりにくい妊産婦のため、ロールパン、飲むヨーグルト、果物・デザートに加え、おにぎり、アイスクリーム等の陣痛食を提供できるよう改善した。</p>	III	<p>(2) 院内環境の快適性向上 項目番号10</p> <p>・新病棟建設工事（2期工事）における駐車場整備と併せ、料金課金システムを導入することにより、無物駐車の一掃、周辺道路の渋滞緩和を図る。</p> <p>・医療用無停電電源装置を更新工事により、人命に関わる医療機器を停電時にも運転できる環境を整備する。</p> <p>・空調自動制御及び監視用リモートユニット更新工事により、患者に対し常に快適な空調を提供できる環境を整備する。</p> <p>・冷却塔及び冷却水配管更新工事により夏場における診療外来患者への冷房空調の安定的な提供を実現する。</p> <p>・治療効果を高めつつ、より快適な入院生活を送れるように栄養管理及び患者の嗜好を配慮した個人対応食を充実させるため、喫食量の少ない患者、緩和ケア病棟入院患者を中心に聞き取りを行う。</p>	<p>院内環境の快適性向上</p> <p>・旧病棟の解体工事完了後の跡地に外来患者用の駐車場を整備した。</p> <p>併せて従来の外来駐車場を再整備することにより駐車枠を拡大するとともに、駐車場を利用する来院者から受益者として必要な経費を負担してもらうことを目的に課金システムを導入した。 【駐車台数】 整備前合計 約330台 整備後合計 約560台 （うち新設分340台、既存分220台）</p> <p>・医療用無停電電源装置、空調自動制御装置及び監視用リモートユニット及び冷却塔・冷却水配管更新により患者に対し快適な環境を提供するように努めた。</p> <p>・緩和ケア病棟入院患者に対して、緩和ケアチームの回診に栄養士が同行し、その他個別に食事内容の聞き取りを行い、喫食量の向上に努めた。</p> <p>・緩和ケア入院患者に対する回診状況 延231件 ・食事聞き取り 延462件</p> <p>・ハーフ食を新設し、食事量にあった小さい器を使用、付加食の種類を増やし、食欲の低下した患者に広く対応できるよう改善した（約35食/日）。</p>	III	<p>(2) 院内環境の快適性向上 項目番号10</p> <p>患者からの環境改善要求については、可能な限り改善に努めるとともに、患者のプライバシーとアメニティの確保に配慮した快適な院内環境の整備を行う。</p> <p>また、治療効果を上げるため、栄養管理の向上及び患者の病態に応じた個別対応食の促進に努める。</p>	<p>◆院内に設置してある「ふれあいボックス」に投函された環境改善への意見・要望に対しては患者サービス向上委員会が中心になり改善に努めた。</p> <p>施設に関する意見、要望10件 対応件数8件 構造上やむを得ないと思われる案件に対しては（トイレが狭い等）カーテンを設置したりスタッフが必ず介助することでプライバシーの確保に努めた。</p> <p>◆正面玄関前の花飾りでは年2回植え替えを行った。</p> <p>◆個別の栄養管理のために「栄養管理計画書」を作成し、食事内容及び栄養補給量等について患者訪問を実施。患者に食事内容をより理解していただくと共に、必要に応じ患者の要望に応えた食事の提供を実施している。 （個別対応食）栄養管理計画書の作成2,377件</p>	III
◎特筆すべき点・進捗状況評価に	に関する意見・その他コメント	検証 結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に	に関する意見・その他コメント	検証 結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に	に関する意見・その他コメント	検証 結果

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院		
H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価 業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価 業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価 業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価
(3) 医療情報に関する相談体制の整備 項目番号 11 情報の取り扱いに対する研修会、講演会を開催し、個人の診療情報やその他情報の取り扱いに対する教育を行う。これにより、カルテ開示等の個人の診療情報やその他情報公開請求時等における医療情報提供の環境を向上させる。また、患者相談室の更なる活用を図り、患者及びその家族への情報開示についても適切に対応する	・患者からの各種相談を一体的に受け付け、その場における解決や、相談の内容により専門の部署に対応をスムーズに依頼する総合相談センターを設置した。 ○総合相談センター ・医師1名を常勤することにより平成23年1月から運用を開始した。 ・患者本人又は家族からの請求により、44件の個人情報を開示した。	III	(3) 医療情報に関する相談体制の整備 項目番号 11 医療費支払いに関する各種福祉制度の活用や転院相談等の医療情報に関する相談を、より受け易くできるような相談体制の整備、充実を図る。入院医療費の支払いが困難な方の相談を病棟側で受付できる体制を整え、その後、医療相談室へ取り次ぐ等、より相談が受けやすい体制づくりを検討していく。	医療情報に関する相談体制の整備 ・従来の医療相談室では手狭であったため、医療相談室に隣接しているICUの患者控え室を医療相談室として利用することとした。(患者控え室は、透析室跡へ移転) ・入院にかかる詳細な説明を行う目的で、入院案内センターを新設し、相談体制の連携強化を図った。	III	(3) 医療情報に関する相談体制の整備 項目番号 11 苦情等へ迅速な対応ができる組織体制を整備する。 また、接遇研修会を開催するなど職員の接遇意識向上にも努める。	◆医療情報に関する相談・苦情ついて、問題事象への発展が懸念されるものは情報を速やかに幹部へ報告することを徹底し、組織として初期段階での対応が行える体制の確立に努めた。 ◆患者サービス向上委員会において12月に「職員マナーブック」を作成し、サイボウズ(院内グループウェア)に掲示を行い、職員の接遇意識向上を図った。	III
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		検証結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		検証結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		検証結果
(4) 患者の視点に立ったより良い医療の提供 項目番号 12 Humanity(人間性を大切に)に基づいた医療の実践を病院の理念の1つとし、県民に信頼され、患者の立場に立ったより良い医療を提供するとともに、①平等に安全で良質な医療を受ける権利、②十分な説明の下に患者自身の医療を決定する権利、③個人のプライバシーを守られる権利を岐阜県総合医療センターの患者の権利とし、院内に掲示するとともに、病院内、入院案内、病院ホームページに掲載し、情報を提供する。	・本館1階ロビーに、患者の権利、個人情報保護に関する方針を掲示し、同内容を病院ホームページにも掲載した。 ・医療安全研修会の一環として、医療メディエーター研修を、外部先進病院から医師を招へいし実施した。 タイトル:「日常診療から医療紛争まで」 開催時期:平成23年3月	III	(4) 患者中心の医療の提供 項目番号 12 患者の権利(安全、平等で最善の医療、情報の開示を受け、自己決定できるなど)の保証と職員への周知、医療者としての倫理観の確立に努める。	患者中心の医療の提供 ・常に患者の視点に立ち、安全で、やさしく、あたたかみ医療の提供に努めた。 ・患者から情報の開示を求められた時には、個人情報保護条例、院内の規程、要綱、指針に基づき、迅速に対応した。(平成22年度情報公開請求23件)	III	(4) 患者中心の医療の提供 項目番号 12 患者の権利(安全、平等で最善の医療、情報の開示を受け、自己決定できるなど)の保証と職員への周知、医療者としての倫理観の確立に努める。 また、カルテ等の医療情報の情報開示については、岐阜県情報公開条例及び岐阜県個人情報保護条例に準じて適切に対応する。	◆名札の裏面に「患者さんの権利」を印刷し、医療者・病院職員としての倫理観の確立に努めた。 ◆カルテ等の医療情報開示は、岐阜県情報公開条例及び岐阜県個人情報保護条例に準じて対応した。 【H22年度の開示件数】 ・請求件数 7件 ・開示決定件数 7件	III
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		検証結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		検証結果	◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		検証結果

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院		
H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価
(5) インフォームド・コンセントの徹底、セカンド・オピニオンの推進 項目番号13 必要な情報を患者が理解できる言葉で提供、説明し、患者自らの判断で治療方針等を決定できるようにインフォームド・コンセントを徹底し、患者等が検査や治療を受けるにあたり、より良い判断をするために、主治医以外の専門医に意見やアドバイスを求めた場合に適切に対応できるように取り組むことで、セカンドオピニオンの推進を図る。	・インフォームド・コンセントの重要性が高まるよう医療メディアユーザー研修を実施した。 ・セカンドオピニオン実施件数 外来受入れ H21：18件 →H22：21件 他院紹介 H21：52件 →H22：64件	III	(5) インフォームド・コンセントの徹底、セカンド・オピニオンの推進 項目番号13 説明と同意について院内での方針を明文化し、全職員にその意義を周知するとともにセカンドオピニオンについて院内や病院のホームページに掲示し、医療連携室を窓口として一元的に対応する。	インフォームドコンセント・セカンドオピニオンの徹底 ・診療情報の提供に関する指針を策定し、インフォームドコンセントの理念に基づいた患者等への診療情報の提供に関する統一的な基準を定め、院内で周知した。 ・他院からのセカンドオピニオン患者に対し、がんの種類別に10名の医師が担当することとした。また病院のホームページに掲示することでセカンドオピニオンに関する周知を図った。 癌セカンドオピニオンの予約件数 5件	III	(5) インフォームドコンセント・セカンドオピニオンの徹底 項目番号13 患者自らが選択し納得できる医療を提供するため、インフォームドコンセント・セカンドオピニオンを徹底する。	患者・その家族には、 ・セカンドオピニオン制度の説明により治療方法を選択する機会を提供 ・入院時の入院診療計画の提示 ・手術や検査の事前説明 を行い、説明と同意に基づく治療の推進を徹底した。	III
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		
(6) 患者や周辺住民を対象とした病院運営に関する満足度調査の病院運営への反映 項目番号14 運営の透明性を図り、患者のみならず地域住民からも信頼が得られる病院とするため、病院の運営、施設・環境及び患者サービス等に関する満足度調査を実施し、運営・管理に反映させるものとする。	・岐阜県総合医療センター運営協議会を開催し、地域住民の代表者等と意見交流を図り、病院運営に反映した。 委員：地元自治会、青年団、老人クラブ、教育関係者、医師会、社会福祉協議会、経営者、保健所、消防署の代表者で構成 開催：平成22年9月、23年3月 主な議題： ・岐阜県総合医療センターの概要、運営状況（収支）、整備（工事関連）等について ・独立行政法人化について（法人概要、年度計画） ・法人の新聞報道で取り上げられた記事等について ・随時近隣住民からの意見・苦情については適正かつ速やかに対応した。	III	(6) 患者や周辺住民を対象とした病院運営に関する満足度調査の病院運営への反映 項目番号14 地域住民等と病院とで構成する「多治見病院運営協議会」を定期的に開催し、地域住民のニーズを把握し、病院運営に反映させる。平成22年度も1回以上実施し、意見、要望の収集に努める。	患者や周辺住民を対象とした病院運営に関する満足度調査の病院運営への反映 ・地域の医療福祉代表者、地域住民関係者、経営関係者、行政機関関係者10名を多治見病院運営協議会委員として任命。平成23年2月7日に開催し、意見・要望の収集を行った。 H23.2.7 議題 ・岐阜県立多治見病院の現状について ・駐車場の整備について ・高精度放射線治療機械の導入について ・また1月27日と28日に外来及び病棟の患者を対象に満足度調査アンケートを実施し、ニーズの把握に努めた。	III	(6) 患者や周辺住民を対象とした病院運営に関する満足度調査の病院運営への反映 項目番号14 患者や周辺住民を対象とした病院満足度調査を実施するとともに、その結果を病院運営に反映させる。	患者満足度調査 ◆退院時アンケート調査を年2回実施(6月・10月：各1ヶ月間づつ) ◆外来受診時のアンケート調査を11月に実施 ※以上の結果は接遇委員会や患者サービス委員会で検討し、課題は各関連部署と共に改善に努めた。 ◆地域住民との交流を深めながらより地域に必要な医療サービスの提供をすることで、円滑な病院運営に活かした。 (自治体の行事に参加・看護用品や介護用品の取扱の説明会等)	III
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント		

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院		
H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H22 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	
	業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価
<p>(7) 患者支援システム(メタボリックシンドローム予防センター)の創設</p> <p>項目番号15</p> <p>平成21年度に設置したメタボリックシンドローム予防センター部は、①生活指導教室、②専門外来(女性外来、禁煙外来)、③緩和医療、④スキンケア(ストーマ、褥瘡(じょくそう))・NST(栄養サポートチーム)、⑤看護外来により構成され、特にメタボ予防を目的とした「患者教育」を実施し再発防止に取り組む。なお、再診料、指導管理料など保険医療にも裏付けされた医療を実施し、医療計画と連携した患者支援システムとする。</p>	<p>・メタボリックシンドローム予防センターを中心とした「患者教育」に重点をおいた生活習慣病の予防(患者支援システム)の構築を目指した。</p> <p>(1) メタボリック予防センター診療実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メタボ外来 H22 年度：370人 ・メタボ看護外来 H22 年度：178人 <p>(2) その他生活指導教室</p> <p>①生活指導教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病教室 H21：72人 → H22：44件 <p>(3) 専門外来</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性外来 H21 初診：94人 再診：1,136人 H22 初診：118人 再診：1,001人 ※22.11～初診枠を拡大し、予約待ちの期間短縮を図った。 ・禁煙外来 H21 初診：16人 (うち禁煙成功者9人) H22 初診：29人 (うち禁煙成功者10人) ※22.10～タバコの値上げに伴う禁煙ブームのため、全国的に禁煙治療薬が不足し、診療が出来ない状況にあった。 <p>(4) 看護外来</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フットケア H21：17人 → H22：161人 ・在宅指導(ｲﾝｽﾘﾝ) H21：350人 → 324人 	III						
◎特筆すべき点・進捗状況評価に関する意見・その他コメント			検証結果					